

会場で爆発濃度ガスを検知

万博の安全 責任体制を

参院環境委

山下よしき議員が提起

ゆめしま
大阪市夢洲の大阪・関西万博会場内で6日、爆発の危険がある濃度を超えるメタンガスが検知されました。この問題で共産党の山下よしき参院議員は、万博協会の対策のずさんな実態を追及。会場で昨年3月に起きたメタンガス爆発事故を受け、万博協会が9月「ガス濃度把握と安全確認の徹底」を表明したが、実施されていなかったと批判。

内閣官房国際博覧会推進本部は「十分でなかった」と認めました（環境委）。



質問する山下よしき議員 15日



6日に爆発濃度が検知されたマンホール
11日、大阪市・夢洲の万博会場内

万博運営する資格が問われる

今回ガスを検知した共産党の寺本けんた守口市議は直後、責任者に伝えるよう現場近くの万博スタッフに要請しましたが、火器の取り扱い制限などは行われず、防災センターに非常事態を伝えようとしても警備員に阻まれました。

国が不適切認める

万博協会の「対策」は「会場内の連絡・連携体制の確立および研修」も明記していますが、「絵に描いた餅」（山下氏）。国側は「必ずしも適切な対応ではなかった」と認めました。

山下氏は「来場者の命と安

全に真剣な考慮を払い、責任ある体制を構築しないなら万博を運営する資格が問われる」と強調しました。

強制換気装置など設置を

山下氏は、①すべての地下ピット（地中に設けられた空間）に強制換気装置とメタンガスの常時モニターを設置する②会場全体にメタンガスの知識を習得し、訓練されたスタッフを配置することを提案。国側は「ご指摘の提案も万博協会に伝え検討させたい」と述べました。

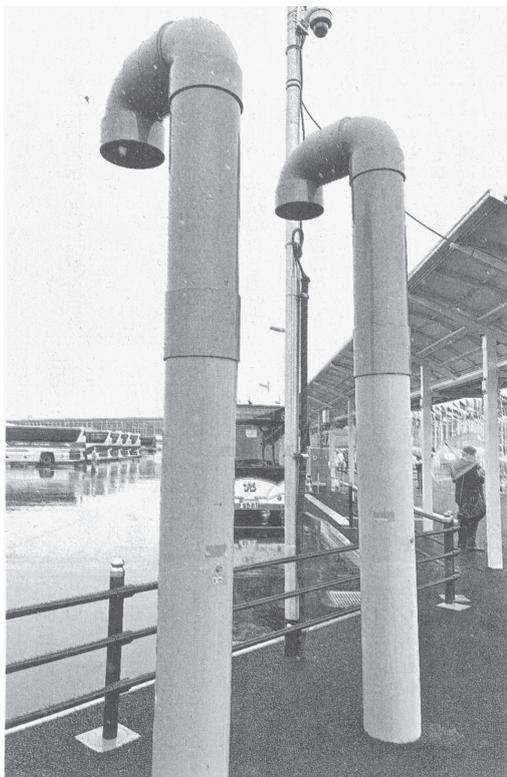
日本共産党

「行かない」87%

毎日新聞の世論調査（12、13日実施）で、万博に行くかを尋ねたところ、「たぶん

「毎日」世論調査

行かない」（32%）「行かない」（55%）を合わせて87%。「必ず行く」（4%）と「たぶん行く」（8%）の合計を大きく上回りました。



万博の第1交通ターミナルに並ぶガス抜き管
13日、大阪市・夢洲

近畿民報

2025年4月号外②
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025
大阪市東成区中道1-10-10ホクシンピース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

しん 赤旗
ぶん

日刊・月3497円
日曜版・月990円

※日本共産党は以上の見解を発表しました。